



30号 3374回例会 2025年 2月 13日(木)

<ビジター・ゲスト>

一般社団法人 入間市青年会議所
 理事長 椎名 拓斗 様

❀ 会長の時間 ❀

宮崎正文会長

2月に入り、寒かったり暖かくなったりと、色々な天候ですが皆さんお変わりはありませんか。今日も北風が強いですね。

やっと新年会も終わりかと思いきや、自分はあと4~5回ほどあります。コロナが空け、昔に戻ってお酒はほどほどにしないでと思っています。まだまだ、インフルエンザが流行っています。そしてコロナも、皆さん気を付けましょう。

今日は、ロータリアンが好んで口にする言葉のひとつに「奉仕の理想」についてお話しさせていただきます。ロータリーソングにもありますし、よく使う言葉ですが、意味がよくわからないと思うので調べました。

「奉仕の理想」がロータリーの中心思想ですから、これが分かると、ロータリーを理解するのが容易になると思っています。英語では、“The Ideal of Service” となっています。“Ideal” を「理想」、「Service」を「奉仕」と直訳することで、原語のニュアンスが伝わりにくくなっています。ただ、日本のロータリーの創始者である「米山梅吉」氏がこれを「奉仕の理想」と翻訳し、そのまま今日に至っております。



ロータリーの「綱領」で新しい翻訳ではこれを「奉仕理念」と訳していました。

“Ideal of Service” (奉仕の理想) は現代語で翻訳すれば、「奉仕理念」という事になります。

ロータリーの綱領(目的)や重要なロータリーの文献にもこの「奉仕の理想」が頻繁に使用されており、日本ではロータリーソングとしておなじみの言葉となっております。

1931年にRIが発行した「目標設定計画」というパンフレットの中で、“The Ideal of Service”の意味を以下の4つの言葉で示しています。

- ①ロータリーの第1モットーである「超我の奉仕」
- ②同じく第2モットーである「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」
- ③「他者への思いやり」
- ④「人にしてもらいたいと思う事は何でも、あなた方も人にしなさい」

当時のロータリアンが“The Ideal of Service”に託した意味は、以上4つの言葉が意味するものを包含していると考えられます。

ロータリーには、二つのモットー(標語)があります。第一は「超我の奉仕」、そして第二のモットーが、アーサー・F・シェルドンの言葉で知られる「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」です。

この二つのモットーの日本語訳については、昔から議論があったそうです。特に、第一モットーの「超我の奉仕」は「超我」が造語であり、カッコよいが意味がよくわからない、と言われてきました。

米山梅吉翁は、これを「サービス第一、自己第二」とか「自己に先立つサービス」と訳しました。「超我の奉仕」より原義が伝わると思われます。第二モットーも、「最善のサービスをすれば、結果として最大の利益が得られる」とでも訳した方が分かりやすいと思います。

この二つのモットーは、最近では別々に示されていて、しかも特に「超我の奉仕」だけがモットーとして示されるようになっていますが、アーサー・シェルドンの論文や「決議 23-34」（「社会奉仕に関する 1923 年の声明」として「手続要覧」掲載されていて、1923 年にセントルイスで開催されて提出された第 34 号議案のこと）のような初期ロータリーの文献では、この二つのモットーは、一つのモットーとして一体化して示されています。

サービスを自己の利益や都合により優先させる。利益はサービスの結果である。相手のために最善のサービスをすれば、結果として最大の金銭的な利益と、大きな精神的満足が得られる。というのが、ロータリーのモットーの真意とされています。

ここで主張されている思想こそが、「ロータリーのサービス理念（奉仕の理想）」の核心です。そして、注意しなければならないのは、これは決して利益を求めて奉仕するという「功利主義」的な思想ではなく、他人に奉仕すること自体を目的とする「利他主義」の思想だという事です。利益はあくまで結果です。

ロータリー独自の” Service” 概念を確立したのが、「ロータリーの哲学者」といわれ、ロータリーの第二のモットー「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」の作者である、アーサー・フレデリック・シェルドンです。そしてポールハリスは、著書の中で、ロータリーの「奉仕の理想」について、「ロータリーの概念する奉仕の理想とは、物の過程の最初に奉仕を置くものである。最も愚かな方法は金銭に集中することである」と述べ、さらに「有史以来、偉人中の最大偉人等がその言にその行に宣揚しきったものは、「奉仕第一、自己第二」というスローガンの中に要約され得る教義である」と説明しています。2010 年に開催された RI 規定審議会において、決議 23-34 をそのままロータリーの奉仕理念とする決議案が圧倒

的多数で可決されました。

今まで、「奉仕の理想」について話しましたが、難しい言葉ばかりで自分でも、よくわかりません。ようは、ロータリーには二つの理念があり、一つは「職業奉仕の理念」であり、もう一つは「他人のことを思いやり、他人のために尽くす」という人道的奉仕活動の理念のことだと思います。これからも、いろいろな観点で、奉仕を続けていきたいと思っています。

次に、来週 18 日に行われる IM ですが、IM とは何でしょうかと、入会当初は疑問に思いました。アイエムとは、インターシティ・ミーティング(” Intercity Meeting”)の略語のことで、都市連合とも言います。そして、IM とは、グループ単位（昔は分区単位）で、地区のガバナー補佐が主催して開かれる会合で、ここ近辺では、第 3 グループ（10 クラブ）で行っています。

IM のテーマは、ロータリーのことや一般社会のこと、その時の話題になっていること、考えなければならぬ問題点など、多岐にわたります。この IM で、ロータリアンとしての心を磨いたり、自己研鑽の契機となる会かもしれません。来週 18 日は IM です。皆さんの出席をよろしくお願いいたします。

今日はこの後、入間青年会議所の椎名理事長の卓話を予定しております。

このあと楽しみにしていますので、よろしくお願いいたします。

<幹事報告>

田中快枝幹事

- 新入会員候補者のお知らせを回覧しています。本日から 7 日以内に異議のある方は申し立てを行って下さい。
- 2/18(火) IM (所沢 ミューズ) 14 時より クラブブレザーとタイ着用でお願いいたします。
- 2/27(木) 雪見例会 西山荘 18 時 30 分 お間違いないようお願い致します。



●委員長報告

[ロータリー美術館]

豊田義継館長

3月13日の広尾の山種美術館で桜の競演と題した「美術館でお花見」そしてミュージアムカフェで和菓子とお茶を楽しんで帰りは川越の「山屋」で食事のご案内をしています。今回は大型バスで参ります関係で入間市駅の集合となっています。



13時出発ですので12時45分頃までに昼食を済ませてから集合ください。宜しくお願ひします。

◎椎名拓斗様ご紹介

宮崎正文会長

豊岡高校の後輩です。お仕事はWeb制作、運用コンサルティング、デジタル・アナログ広告全般、DX導入支援、アプリ開発をお仕事にされています。よろしくお願ひ致します。

■■■講師卓話■■■

「奉仕市場について」

椎名拓斗様

入間青年会議所第49代理事長の椎名拓斗です。年齢は今年40歳になります。

JCには2018年に入会しました。仕事は先ほどご紹介いただきましたが、最近流行っていますAIの導入の支援等を行っています。

ロータリークラブも入間青年会議所も奉仕団体というところで、メンバーの減少が話題になっているとおと思いますが、今日はその奉仕活動と私の仕事でもあるマーケティングについてお話させていただきます。

現代社会では、技術の進化により「自己完結」が進み、社会奉仕の必要性が薄れつつあります。私たち奉仕団体も、この流れの中でその存在意義を再定義する時期に来ています。



テクノロジーの発展は、人々が「自分ではなんとかできる」環境を作り出しました。その結果、地域コミュニティや支援への依存は減り、幸福の基準も変化しました。しかし同時に、人間関係や「共助」の価値が見直される兆しもあります。このような変化の中で、私たちは「なくなる為に何をするか」という視点を持つべきではないでしょうか。

奉仕団体の活動は、ある意味で「奉仕が必要とされない社会」を目指してきました。そのため、会員数の減少や奉仕の役割が薄れることは、むしろ私たちが目指してきた成果とも言えます。では、次のステップとして私たちは何を提供できるのか？それは、「共感」と「自己実現」が重なる場を提供することです。

心理学者マズローの「欲求5段階説」を見ると、現代日本では低次元の欲求は満たされており、高次元の



「自己実現欲求」こそが重要なテーマとなっています。

この欲求に応える場として、奉仕団体が「人とのつながり」や「自己の成長」を支援することは、現代社会においてますます重要です。

加えて、マーケティングの観点からも「半歩先」の提案を意識することが大切です。一歩先に行きすぎると周囲の理解を得られず、活動が共感を生まない可能性があります。私たちは、今の時代に即した形で、地域に必要とされる団体へと進化する必要があります。

市場の縮小という成功とともに新たな市場へと明確に移行した今、私たちは新たなニーズへの対応を求められているのでしょうか。

最後になりますが、20歳～40歳までの若い方々が周りにいらっしゃいましたら、未来の入間市を起因するリーダーを作っていく入間市青年会議所をご紹介ください。将来ロータリーに入会するメンバーに育てて参りますのでどうか宜しくお願ひ致します。ご清聴ありがとうございました。

<ニコニコBOX> 細淵克則 S A A

宮崎正文君, 晝間和弘君, 田中快枝君,
細淵克則君, 豊田義継君, 吉沢誠十君,
木下登君, 細田浩司君, 駒形一人君,
椎名拓斗様ようこそ入間RCへ。卓話宜しく
お願い致します。

水村雅啓会員

椎名拓斗様ようこそ入間 RC へ。JC 卒業
後は是非入間クラブ入会お待ちしております。

岩崎茂君

誕生祝ありがとう。お礼のスピーチさ
せてください。



今日で 85 歳にな
りました。三回死
に損なっていますが私は 100 歳で死
ぬことになっていますので、それま
でお付き合い宜しく
お願い致します。



友野政彦君

このフロアで遣っている鉱物フェアで、
美しいアンモナイトを購入しました。

杉田宏充君

辛い麻婆丼に一票!

本日¥15,000 累計¥588,000

■回覧、配布物

- ① 入会候補者のお知らせ
- ② 4/22 入間南 RC 合同例会ご案内と出欠表
- ③ 入間南 RC 合同ゴルフ会ご案内と出欠表
- ④ 2025-2026 年度版ロータリー手帳申込表
- ⑤ 3/27 花見夜間例会出欠表
- ⑥ 第 9 回日台ロータリー親善会議のご案内
- ⑦ 3/6 小委員長発表のお知らせ
- ⑧ プログラム 2.3.4 月
- ⑨ 日帰り美術館ご案内パンフレット
- ⑩ 他ロータリークラブ週報&お知らせ
- ⑪ 週報 29 号

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：吉田勉

